本単元でよく見られる生徒のつまずき

ある池に生息 しているコイの およその数を推 定しなさい。 母集団の傾向を推定する方法についての実感を伴った理解が不十分で、適切な調査の方法を考えたり、その方法で推定できる根拠を明確にしたりすることができない。

授業での指導の工夫

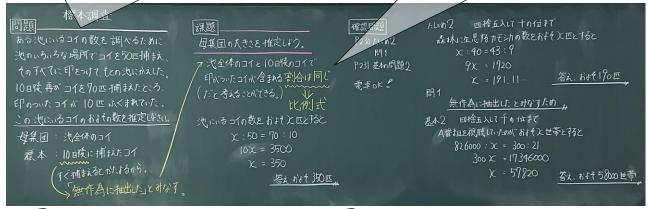
【本時の目標】母集団の数を調べる標本調査の方法や根拠を説明することができる。

【問題解決の過程を意識した指導】

・この事象の問題解決では、①標本調査を用いて事象を数学化する過程、 ②数学化した問題を解決する過程、 ③得られた結果を考察する過程の3 つの過程が考えられます。本実践では、①の過程を問題で提示し、生徒に問い返しながら遂行しています。

【学習を調整する方法を指導】

- ・②の過程では、計算の根拠となる既習の内容について生徒が教科書やノート等で自ら振り返る場面を設定するなど、解決に向けた学習方法を指導しています。
- ・①③の過程は、単元の他の時間にバランスよく位置付けます。





なぜ再び捕まえるのは10日後 にする必要があるのでしょうか。

すぐに捕まえると印を付けた コイが多くなるからかなぁ…

10日後にすると偏りが少なくなるから「無作為に抽出した」とみなすことができそうだね。





割合が同じであることは、これまでどのような式で表しましたか。

1年生では、同じ味のソースを作るという場面で、同じ割合で材料を 混ぜるという考えを使ったよね。



今回も割合が同じであると分かっ たから、比例式で表現できそうだ。



授業づくりで大切にしたいこと

- つ 問題解決に必要な過程を明確化し、指導計画にバランスよく設定
- O 問題が解決できなくても、粘り強く自己調整できるようにするための 指導場面の設定